

## 基本目標 6

市民と行政がともに歩み健全で

自立したまちをつくる

《住民自治・協働・行財政》

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	176
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	市民参加推進事業		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	市民参加推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 1 市民参加の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民、事業者と行政が相互の信頼関係に基づき、自らの役割を十分に発揮できる協働のまちづくりを進めるため、市民参加条例の制度・意義の周知を図っていくとともに、行政活動の様々な場での市民参加を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	市民が主体的に行政に関わるための基本的な事項を定めた市民参加条例により市民参加を推進し、魅力と活力のある地域社会の発展に寄与する。		
	対象	市民(市内在住、在勤、在学者及び市内に事業所を置く法人等)		
	根拠法令・関連計画等	印西市市民参加推進条例		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加推進委員会の開催</li> <li>市民参加実施状況の公表</li> <li>研修会等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加推進委員会を2回開催した。</li> <li>市民参加実施状況及び実施予定について、市広報紙または市ホームページで公表した。</li> </ul>

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					239,000	239,000
		予算現額					239,000	239,000
		決算額					127,566	127,566

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	市民参加推進委員会の開催	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2
	各課へ市民参加状況調査の実施	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	3
市民参加実施状況の公表	回	目標値	2	2	2	2	
		実績値	2	2	2	2	
成果指標	公募市民が委嘱されている審議会等の数	件	目標値	25	25	25	25
			実績値	28	28	30	31
	市民意見公募手続の平均応募件数	件	目標値	5	5	5	5
			実績値	3	1	3	14
募集に対する公募委員割合	%	目標値	30	30	30	30	
		実績値	12	19	19	16	

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き市民参加の推進を図るため、市民参加推進委員会から意見を聴取し、各種手続きの効果的な実施に努めるとともに、審議会等においては、公募市民や女性委員の更なる増加を目指す。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	177
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	広報紙発行事業		
	担当部署名	総務部広報広聴課 広報広聴班		
	款項目及び予算名	2款1項2目 文書広報費	新市基本計画	
	予算事業名	広報紙発行事業、広報レポーター事業、行政記録保存事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 市政情報の共有化の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	協働のまちづくりを推進していくため、多様な媒体を活用した広報活動や情報提供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用を図り、市民、事業者と行政との円滑なコミュニケーションを構築していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和36年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	市民に行政情報や地域の出来事等を幅広く知らせることにより、市政の透明化及び活性化を推進し、併せて市政に対する関心度の向上を図る。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	印西市市政情報の公表及び積極的な推進に関する要綱		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙の編集(月2回)</li> <li>・新聞折込、郵送及び戸別投函による配布</li> <li>・市内主要公共施設や駅などへの配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの情報を正確に伝え、見やすいレイアウトを意識して編集した。</li> <li>・広報レポーターに執筆を依頼し市民に親しんでもらえる広報紙をめざした。</li> <li>・重要施策に関する企画記事の充実に努めた。</li> <li>・新聞未購読世帯への補充措置として広報紙を直接送付するサービスの周知に努めた。</li> <li>・スマートフォンアプリによる広報紙の自動配信サービスを開始した。</li> </ul>	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)	5,000			
		予算現額	5,000				19,561,000	19,566,000
		決算額	5,000				18,944,328	18,949,328

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	発行回数	回	目標値	24	24	24	24
			実績値	24	25	27	25
	記事掲載量	ページ	目標値	228	228	228	228
			実績値	228	233	236	226
成果指標	発行部数	部/月	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績値	29,300	29,400	29,450	29,600
	配布部数	部/月	目標値	27,200	27,200	27,200	27,200
			実績値	27,600	27,800	28,000	28,000
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	・広報紙は市政の動きはもとより、市民や団体の情報、地域の催しなどを発信するとともに容易な情報入手手段であるため事業を継続する。今後も市民から親しまれる広報紙となる紙面づくりに努める。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	178
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	ホームページの更新管理		
	担当部署名	総務部広報広聴課 広報広聴班		
	款項目及び予算名	2款1項2目 文書広報費	新市基本計画	
	予算事業名	ホームページ更新管理費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 市政情報の共有化の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	協働のまちづくりを推進していくため、多様な媒体を活用した広報活動や情報提供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用を図り、市民、事業者と行政との円滑なコミュニケーションを構築していきます。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	高度な市政情報を、より早的確に情報提供するため、ホームページの充実を図る。		
	対 象	市民一般		
	根拠法令・関連計画 等	印西市情報化計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署からの情報発信を促進</li> <li>・ホームページの運用管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な情報発信を職員に周知し、アクセス件数が増加した。</li> <li>・ホームページシステムの操作研修を実施しコンテンツの充実が図れた。</li> <li>・インターネットの特性を活かし、即時性のある情報発信に努めた。</li> <li>・ヤフー株式会社との災害情報協定に基づくYahoo!ブログを活用し防災関連情報の発信に努めた。</li> <li>・アクセシビリティJIS調査(A.A.O実施)でJIS等級Aの問題が少ない自治体として全国13位に順位した。</li> </ul>	

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					468,000	2,741,000
予算現額						468,000	2,741,000	3,209,000
決算額						282,000	2,880,048	3,162,048

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	コンテンツ登録件数	件	目標値	700	700	700	700
			実績値	641	1,496	1,890	2,203
			目標値				
			実績値				
成果指標	アクセス件数	件/年	目標値	420,000	440,000	460,000	480,000
			実績値	618,041	615,709	739,479	785,699
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	市ホームページは、インターネットの特性である速報性と詳報性を活かした情報提供手段であるため事業を継続する。今後も市政に関するさまざまな情報を迅速かつ正確に利用者へ提供できるよう職員研修などに努める。

# 平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	179
------	-----

## 1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	広聴事業		
	担当部署名	総務部広報広聴課 広報広聴班		
	款項目及び予算名	2款1項2目 文書広報費	新市基本計画	
	予算事業名	市政ポスト管理費・市民ふれあい懇談会に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 市政情報の共有化の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	協働のまちづくりを推進していくため、多様な媒体を活用した広報活動や情報提供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用を図り、市民、事業者と行政との円滑なコミュニケーションを構築していきます。		
事業内容等	事業年度	平成7年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	市民個々の意見などを把握するため、市の公共施設に市長宛てのポストを設置するとともに、市長が直接市民と対話し意見などを伺う市長談話室、懇談会を実施する。		
	対象	市民一般		
	根拠法令・関連計画等	印西市市政ポストに関する要綱		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政ポストの管理(市内公共施設25カ所)</li> <li>・市長談話室(月1回)</li> <li>・市民グループ等からの申し出による市長懇談会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多岐にわたる市民の意見や要望の窓口を「市政ポスト」で一本化することで、対応の円滑化が図れた。</li> <li>・市政に対する意見や要望の内容を一元管理し、情報を共有することができた。</li> <li>・テーマを絞ったタウンミーティングにより、市民参加の拡大を図るとともに伺った意見を市政に反映させることができた。</li> <li>・公共施設の新規オープンに併せ、市政ポストを1カ所増設した。</li> </ul>	

## 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					27,000	27,000
		予算現額					27,000	27,000
		決算額					20,431	20,431

## 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	ポストの設置箇所数	箇所	目標値	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	25
	懇談会開催回数	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	6	2	6	4
成果指標	回答件数(住所、氏名が明記されたもののみ)	件	目標値	80	80	80	80
			実績値	99	88	72	90
	懇談会延べ参加者数	人/年	目標値	180	180	180	180
			実績値	57	47	80	73
			目標値				
			実績値				

## 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	懇談会の開催回数と延べ参加者数において目標値を下回ったものの、電子メールによる意見が昨年と比較して増加するなど、相対的に多くの市民意見を把握することができた。

## 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	広聴活動は市民の意識や意向を的確に把握し、行政施策へ適切に反映させる手段であるため事業継続する。今後は広聴制度の活用促進のためPR等に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	180
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	情報の公開		
	担当部署名	総務部情報管理課 文書統計班		
	款項目及び予算名	2款1項1目 情報公開に要する経費・文書管理の推進事業	新市基本計画	
	予算事業名	情報公開に要する経費、文書管理の推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 市政情報の共有化の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	協働のまちづくりを推進していくため、多様な媒体を活用した広報活動や情報提供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用を図り、市民、事業者と行政との円滑なコミュニケーションを構築していきます。		
事業内容等	事業年度	平成12年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	公開制度の適正な運用に努めるとともに、公文書の適正な管理を行い、市民への情報公開・情報提供を積極的に推進する。また、市民への積極的な情報提供を行うための手段である行政資料コーナーの整備やホームページへの掲載に努める。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	印西市情報公開条例等		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・文書管理システム及び文書ファイリングシステムの維持管理 ・情報公開・情報提供の推進 ・長期書庫の拡大の検討	情報公開制度の適正な運用を行い、市民への情報の公表・提供の推進を図るため、ホームページの活用、行政資料目録の作成・公表、行政資料コーナーの充実を努めた。また、電子決裁の導入により紙文書が減り経費が削減された。なお、長期書庫の拡大の検討については、不足する保管場所を暫定的に確保するに留まった。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					2,472,000	2,472,000
		予算現額					2,472,000	2,472,000
		決算額					1,125,728	1,125,728

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	各課情報公表・提供の情報一覧の公表	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
			目標値				
			実績値				
成果指標	市政情報の公表・提供数	件	目標値	650	650	650	650
			実績値	860	888	968	1,044
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	市政情報の公表・提供数が年々増加し、目標を上回っていることから、市民と市政情報を共有することの必要性について、職員の意識が高まっている。今後は更に積極的に行政情報を提供するために、現在の提供方法以外の方法を検討し、市民にとって利用しやすい情報の提供に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	181
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	シティセールスの推進		
	担当部署名	企画財政部ふるさとづくり推進課 ふるさとづくり推進班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	企画事務に要する経費、シティセールスに要する経費 (地方創生)シティセールスに要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - 2 市政情報の共有化の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	協働のまちづくりを推進していくため、多様な媒体を活用した広報活動や情報提供、きめ細やかな広聴、情報公開制度の適正な運用を図り、市民、事業者と行政との円滑なコミュニケーションを構築していきます。		
事業内容等	事業年度	平成24年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	地域の貴重な財産である人や自然、文化、産業、都市基盤など合併によって高められた「まちの魅力」を積極的に市内外にセールスしていくことで、活力あるまちづくりと多様な交流につなげていく。		
	対象	市内外		
	根拠法令・関連計画等			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・シティセールスプランの策定 ・ふるさと寄附金を活用した市のPR	・シティセールスプランを策定した。 ・今年度よりふるさと寄附金の返礼品を開始し、市の特産品等のPRを各イベント等において行った。 ・世界陸上アメリカチーム歓迎看板を設置し、市のPRを兼ねて記念品を製作し配布した。 ・平和PGMゴルフツアー時において、市のPR、アンケートの実施及び印西産コンヒカリの無料配布を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度		積算額 (当初予算額)	8,316,000				3,523,622
		予算現額	8,316,000				3,523,622	11,839,622
		決算額	6,851,520				3,496,630	10,348,150

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	庁内推進会議の開催数	回	目標値	4	4	1	1
			実績値	1	4	0	0
	シティセールスプランの策定	%	目標値	0	100	100	0
			実績値	0	50	60	100
成果指標	事業推進により知名度の向上、定住人口等の増につなげていくことを目標とする		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	プランの策定が終わり、今後は関係各課との調整を図り、実施計画の策定に着手する。 また、引き続き各種イベント等において積極的に市のPRを行う。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	182
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	コミュニティ活動の推進事業		
	担当部署名	市民部市民活動推進課 市民活動支援班		
	款項目及び予算名	2款1項12目 自治振興費	新市基本計画	
	予算事業名	町内会等に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 3 コミュニティ活動の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	町内会、自治会、町会、区におけるコミュニティ活動を支援していくとともに、活動拠点となるコミュニティ施設の整備・充実を進め、地域の中で助け合い支え合える「地域コミュニティ」を醸成していきます。		
事業内容等	事業年度	平成11年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	市と町内会等の相互協力関係を推進し、行政運営の円滑化及び地域社会における住民自治の振興を図る。		
	対象	町内会等		
	根拠法令・関連計画等	印西市行政協力交付金交付要綱 印西市町内会等活動費補助金交付要綱 印西市町内会等地区連絡会活動費補助金交付要綱		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会等の活動助成</li> <li>町内会等の設立に向けた団体への資料提供及び助言</li> <li>転入者への加入促進文書の配布</li> </ul>	行政協力交付金、町内会等活動費補助金、町内会等地区連絡会補助金を交付し、円滑な行政運営及び町内会等活動の活性化を図った。また、町内会等の設立に向けた相談を受け、資料の提供や補助金等の説明を行い、町内会等の設立を支援するとともに、町内会自治会連合会作成の加入促進パンフレットを活用し、町内会等への加入促進を図った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,000	32,611,000	32,612,000
		予算現額					1,000	32,611,000	32,612,000
		決算額					0	28,469,851	28,469,851

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	行政依頼配布物配布件数	件	目標値	90	90	90	90
			実績値	112	103	99	83
	加入促進の広報活動	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	4	1	1	1
成果指標	町内会等組織数(累計)	地区	目標値	170	170	170	170
			実績値	165	167	170	171
	町内会等加入率	パーセント	目標値	69.0	70.0	71.0	72.0
			実績値	67.0	64.6	63.7	63.8

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	町内会等は任意団体で任意加入が原則であるため、施策の範囲に限られるが、引き続き町内会等への支援や協力関係の維持に努めるとともに、未組織地域等への設立に向けた説明や町内会自治会連合会関係資料の提供等を行う。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	183
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	コミュニティセンター運営事業	
	担当部署名	市民部市民活動推進課 市民活動支援班	
	款項目及び予算名	2款1項12目 自治振興費	新市基本計画
	予算事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 3 コミュニティ活動の推進	スマイルプラン
	施策の方向性	町内会、自治会、町会、区におけるコミュニティ活動を支援していくとともに、活動拠点となるコミュニティ施設の整備・充実を進め、地域の中で助け合い支え合える「地域コミュニティ」を醸成していきます。	
事業内容等	事業年度	平成9年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	市民相互の理解を深め、より強い絆を持った地域づくりを推進するため、市内4館のコミュニティセンターにおいて、コミュニティの醸成事業を行い、地域コミュニティの充実を図る。	
	対 象	中央駅南コミュニティセンター（サザンプラザ）、中央駅北コミュニティセンター（フレンドリープラザ）、永治コミュニティセンター（永治プラザ）、船穂コミュニティセンター 計4館	
	根拠法令・関連計画 等	印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・次期コミュニティセンター指定管理者の指定	市内に4館あるコミュニティセンター（指定管理）により、地域コミュニティの活性化を推進した。 次期（平成28年度～32年度）コミュニティセンターの指定管理者の選定を実施した。

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,050,000	87,540,000
予算現額						1,050,000	87,540,000	88,590,000
決算額						1,406,525	75,297,141	76,703,666

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	コミュニティセンター運営協議会打ち合わせ(各館)	回	目標値	96	96	96	96
			実績値	96	98	98	115
	コミュニティセンター数(累計)	館	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
成果指標	コミュニティセンター入館者数	人	目標値	99,000	99,000	99,000	99,000
			実績値	104,424	102,294	105,473	105,989
	登録団体数	団体	目標値	250	250	250	250
			実績値	262	301	303	295
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選理理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	利用者・登録団体ともに目標値を上回っており、地域コミュニティの拠点の一つとして機能していると考えられる。地域コミュニティの活性化を図るため、引き続き事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	184
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地区集会施設整備事業		
	担当部署名	市民部市民活動推進課 市民活動支援班		
	款項目及び予算名	2款1項12目 自治振興費	新市基本計画	
	予算事業名	町内会地区集会所等に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 3 コミュニティ活動の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	町内会、自治会、町会、区におけるコミュニティ活動を支援していくとともに、活動拠点となるコミュニティ施設の整備・充実を進め、地域の中で助け合い支え合える「地域コミュニティ」を醸成していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和58年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	多様なコミュニティ活動を支援するとともに、町内会活動等への参加の場を確保するため、活動拠点となる集会施設の整備・充実を図る。		
	対象	町内会等		
	根拠法令・関連計画等	印西市青年館の設置及び管理に関する条例 同施行規則 印西市集会所の設置及び管理に関する条例 同施行規則 印西市構造改善センターの設置及び管理に関する条例 同施行規則 印西市集会施設整備事業補助金交付要綱 ほか		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	地区集会所の建設費又は修繕費の助成	町内会等へ集会施設整備事業補助金を交付し、町内会等が管理する集会施設の整備・充実を図った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					56,737,000	56,737,000
		予算現額					42,937,000	42,937,000
		決算額					40,478,593	40,478,593

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	集会施設等の新設、改築、修繕に対する補助	箇所	目標値	10	10	10	10
			実績値	6	9	6	10
	申請に対する決定件数	件	目標値	10/10	10/10	10/10	10/10
			実績値	6/6	9/9	6/6	10/10
成果指標	集会施設数	箇所	目標値	142	143	144	145
			実績値	142	144	145	145
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	活動拠点となる集会施設の整備は町内会等の負担を伴うことから、状況を見ながら町内会等と相談の上、事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	185
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	市民活動推進事業		
	担当部署名	市民部市民活動推進課 市民活動支援班		
	款項目及び予算名	2款1項12目 自治振興費	新市基本計画	
	予算事業名	市民活動支援事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 1 市民活動の推進	スマイルプラン	スマイル3
	施策の方向性	市民活動の拠点となる市民活動支援センターの機能強化を図っていくとともに、市民活動推進条例に定める理念に基づいて市民の公益的な活動への支援を推進し、地域における市民主体のまちづくりを進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	市民活動の推進及び活性化を図るため、活動を行うために必要な「場」「資金」「情報」「交流」等に関する様々な支援策を実施する。		
	対象	市民活動を行おうとする全ての市民及びNPOなどの市民活動団体、事業者		
	根拠法令・関連計画等	印西市市民活動推進条例 市民活動団体(NPO等)との協働を進めるためのガイドライン 印西市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例 同施行規則		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による市民活動支援センターの管理運営</li> <li>市民活動推進委員会の運営</li> <li>市民活動に関する情報の収集及び提供</li> <li>協働事業の推進</li> <li>公益信託印西市まちづくりファンドによる側面支援</li> </ul>	市民活動に関する情報の収集・提供を実施。また、市民活動支援センター(指定管理)による市民活動団体等への支援や、市民活動推進委員会の開催、まちづくりファンドによる側面支援などにより、市民活動団体の活動支援や協働事業の推進を行い、市民活動の推進及び活性化を図った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	精算額 (当初予算額)						12,739,000
予算現額							12,739,000	12,739,000
決算額							11,481,766	11,481,766

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	市民活動推進委員会の開催数	回	目標値	6	6	6	6
			実績値	5	6	7	8
			目標値				
			実績値				
成果指標	市民活動支援センターの利用者数	人	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	5,550	5,988	6,590	8,582
	公益信託印西市まちづくりファンドの 応募申請件数	件	目標値	15	15	15	15
			実績値	19	10	11	13
	協働事業の実施件数	件	目標値	51	54	57	60
			実績値	60	63	67	73

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	魅力と活力のあるまちづくりのために、市民活動の推進・活性化や協働社会の実現は重要であることから、引き続き事業を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	186
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	男女共同参画推進事業		
	担当部署名	市民部市民活動推進課 市民活動支援班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 男女共同参画推進事業	新市基本計画	
	予算事業名	男女共同参画推進事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	6 - - 2 男女共同参画の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	男女が性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく個人として尊重され、個性や能力が十分に発揮できるよう、支援や相談体制の充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	男女が共に性別に関わりなく、個人として尊重され、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	印西市男女共同参画プラン		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催事業の実施</li> <li>啓発資料の配布</li> <li>男女共同参画プランの進行管理</li> </ul>	男女共同参画推進のための各種講座を開催した。男女共同参画プランの進行管理を行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				20,000	364,000	384,000
		予算現額				20,000	364,000	384,000
		決算額				4,000	196,175	200,175

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	講座数	講座	目標値	6	6	6	6	
			実績値	6	5	7	6	
	プランの進捗状況の取りまとめ	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1	1	
	成果指標	男女共同参画推進講座	人/事業	目標値	150/6	150/6	150/6	150/6
				実績値	117/6	99/7	155/7	248/6
プランの進捗率		%	目標値	95	100	20	30	
			実績値	85.0	90.0	20.0	30.0	
審議会等における女性委員の登用率		%	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	
			実績値	26.9	28.4	28.3	26.8	

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	第2次男女共同参画プラン(H26-30)に基づき、男女が性別に関わりなく個性と能力を発揮できる社会に向けて事業を推進していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	187
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	女性の悩み相談事業		
	担当部署名	健康福祉部子育て支援課 子育て支援班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 女性の悩み相談事業	新市基本計画	
	予算事業名	女性の悩み相談事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 男女共同参画の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	男女が性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく個人として尊重され、個性や能力が十分に発揮できるよう、支援や相談体制の充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成14年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	夫婦や家族・対人関係など様々な悩みを抱える女性を支援し、女性の社会参加の促進を図る。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	印西市男女共同参画プラン		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・女性の悩み相談の実施 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	毎月2回(第1・3木曜日)女性の悩み相談を実施し、女性が抱える様々な悩みに対し解決へとつながるよう支援をした。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額					519,000	519,000
		決算額					518,400	518,400

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	相談日数	日	目標値	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24
	周知回数	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
成果指標	相談者数	人	目標値	120	120	120	120
			実績値	95	84	100	100
				目標値			
				実績値			

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	<p>広報紙やホームページを活用し相談窓口の周知を図る。</p> <p>毎月2回(第1・3木曜日)女性の悩み相談を実施し、女性が抱える様々な悩みに対し解決へとつながるよう支援を行っていく。</p>

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	188
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	配偶者等暴力被害者支援事業		
	担当部署名	健康福祉部 子育て支援課 子育て支援班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	配偶者等暴力被害者支援事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 男女共同参画の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	男女が性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく個人として尊重され、個性や能力が十分に発揮できるよう、支援や相談体制の充実を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成15年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	DV被害者の支援として、緊急避難時に支援金を給付し、被害者及びその家族の支援を図る。		
	対象	市内在住のDV被害者及びその家族		
	根拠法令・関連計画等	印西市配偶者等暴力被害者緊急避難支援要綱、印西市男女共同参画プラン		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度		・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンターや警察署、民間施設との連携強化	・DV被害者の相談に対し、関係機関と連携を図り支援に努めた。緊急避難のための支援金の支給は実績なし。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額					122,000	122,000
		決算額					14,817	14,817

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	広報回数(制度)	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
成果指標	被害者に対する緊急的な支援が必要となるため、支援制度として確立することを目標とする。		目標値				
			実績値				
		目標値					
		実績値					

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	DV被害者の支援として、緊急避難時に支援金を給付し、被害者及びその家族の支援を実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	189
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	産学官連携推進事業		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	企画事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 3 産学官連携の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	産業や教育・文化の振興、健康・医療及び福祉の推進、人材育成など幅広い分野における連携を推進することにより、活力に満ちた特色あるまちづくりを進めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	活力あるまちづくりを進めていくため、産業振興、教育文化振興、人材育成、まちづくりなど各分野において、教育機関や民間企業等との相互の連携・協力が図れるよう、いんざい産学官まちづくり懇話会を中心に推進していく。		
	対象	市内教育機関・民間企業等		
	根拠法令・関連計画等	印西市と東京電機大学の連携協力に関する協定 印西市と順天堂大学の連携協力に関する協定		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>いんざい産学官まちづくり懇話会の開催</li> <li>東京電機大学との連携協力に関する協定に基づく連携</li> <li>順天堂大学との連携協力に関する協定に基づく連携</li> <li>市内外の教育機関及び民間企業等との連携の推進</li> </ul>	いんざい産学官まちづくり懇話会については、「産学官社会科見学ツアー」を開催し、また懇話会の各機関が実施する市民向け公開講座等の情報を一覧にして市ホームページで情報発信した。東京電機大学と順天堂大学に加え、平成26年度に市内郵便局とも連携協定を締結し、各分野で連携事業を実施できた。その他、教育機関や事業所等と連携した取り組み数も増加した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						4,000
予算現額							4,000	4,000
決算額							0	0

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	いんざい産学官まちづくり懇話会	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	3	3	0	1
	懇話会専門部会	回	目標値	30	30	30	30
			実績値	20	3	10	4
成果指標	事業所・教育機関と連携して行った取り組み数	件	目標値	50	50	50	50
			実績値	45	50	56	78
	懇話会での連携事業件数	件	目標値	1	1	2	2
			実績値	0	0	0	2
				目標値			
				実績値			

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	D 目標値を下回る	27年度の懇話会、専門部会については、26年度に提案のあった事業について実施する段階となり、検討会議自体の開催数は減少した。
成果に対する評価	A 目標値を上回る	懇話会から提案のあった事業を実施することができた。また、東京電機大学、順天堂大学との連携協定に加え、市内郵便局との連携協定や、高齢者等の見守りに関する事業者との協定など、産学官の多様な連携事業が増えた。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	活動指標が懇話会に偏っているため活動評価が低くなりC評価としたが、産学官の連携のあり方は、多くの機関が関係するものであり、非常に流動的である。懇話会にこだわらず、各機関のニーズに適合する形での連携はむしろ促進されている。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	複数の機関が関連する産学官の連携については、そのあり方は非常に流動的であり、活動指標が現状とマッチしていない面がある。一方で、懇話会にこだわらず、各分野での事業者等との連携は、個別の協定の締結など、ニーズに適合する形で年々促進されているので、活動形態を見直しながら、今後も地域の事業者、教育機関等を中心に連携を推進していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	190
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	窓口の休日実施		
	担当部署名	市民部市民課 窓口班		
	款項目及び予算名	2款3項1目 戸籍住民基本台帳費	新市基本計画	
	予算事業名	窓口業務の休日実施に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 1 市民サービスの充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、情報環境の整備などを進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	平日来庁できない市民の利便性を図るため、休日に各種証明等の窓口を開設する。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	第4次印西市行政改革大綱		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	[市役所本庁市民課] 毎月第2・4土曜日(8:30~17:15) [中央駅前出張所] 毎月第1・3土曜日(8:30~17:15) [滝野出張所] 毎週土・日曜日(8:30~17:15) [印旛支所] 毎週土曜日(8:30~12:00) ・証明書の発行・印鑑登録・戸籍の預かり業務等	・休日開庁…本庁24日、中央駅前出張所20日、滝野出張所93日、印旛支所49日/年 ・来客者数…計4,648人/年 本庁787人、中央駅前出張所926人、滝野出張所2,156人、印旛支所779人 ・証明書等取扱件数…7,522件/年 本庁1,309件、中央駅前出張所1,551件、滝野出張所3,694件、印旛支所968件	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度		積算額 (当初予算額)					163,000	163,000
		予算現額					163,000	163,000
		決算額					162,624	162,624

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	休日開庁の実施(本庁・中央駅前出張所)	回	目標値	23	48	48	48	
			実績値	38	44	45	44	
	休日開庁の実施(滝野出張所)	回	目標値	96	96	96	96	
			実績値	93	95	97	93	
	休日開庁の実施(印旛支所)	回	目標値	48	48	48	48	
			実績値	47	48	49	49	
成果指標	来客者数(合計)	人	目標値	3,000	4,000	4,000	4,000	
			実績値	3,567	4,274	4,343	4,648	
	証明書などの取扱件数(合計)	件	目標値	5,000	6,000	6,000	6,000	
			実績値	5,960	6,904	6,894	7,522	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も利用ニーズを考慮しながらサービスの周知を図り、さらに利用しやすくすることを目標に成果を上げていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	191
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	納税機会の充実		
	担当部署名	市民部納税課ほか		
	款項目及び予算名	2款1項4目 会計管理費、2款1項11目 電子計算費	新市基本計画	
	予算事業名	情報基盤整備に要する経費、会計事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 1 市民サービスの充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、情報環境の整備などを進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成24年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	納税等について、24時間、365日利用することができるコンビニエンスストアやマルチペイメントによる収納業務を継続し、市民の利便性及び市民サービスの向上を図る。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	印西市会計事務規則		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	コンビニ・マルチペイメントでの収納業務の継続 【収納対象】 固定資産税・都市計画税、軽自動車税、市民税・ 県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高 齢者医療保険料、下水道使用料、水道料金	H27年度も継続 コンビニ・ペイジー対応 固定資産税・都市計画税、軽自動車税、市民税・県民税（普通徴収）、 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料 コンビニ対応 下水道使用料、水道料金 納付場所、納付可能時間が拡大され、納付者のライフスタイルに合わ せた納付環境が実現された。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					12,846,558	12,846,558
		予算現額					12,846,558	12,846,558
		決算額					12,076,342	12,076,342

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	コンビニ収納及びマルチペイメント収納の導入	システム	目標値	1	0	0	0
			実績値	1	0	0	0
	コンビニ収納及びマルチペイメント収納の運用	システム	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
成果指標	マルチペイメントによる収納件数	件	目標値	サービスの向上を目指すものであり、目標値は設定しない			
			実績値	60,897	79,448	82,027	84,570
	コンビニエンスストアでの収納件数	件	目標値	サービスの向上を目指すものであり、目標値は設定しない			
			実績値	54,409	73,054	75,521	77,365
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選理理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	マルチペイメント収納及びコンビニエンスストア収納を運用することにより、納付可能時間・納付場所の制限が減り、納税機会の充実が図られ市民サービスの向上につながっている。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	192
------	-----

### 1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	市民相談の実施		
	担当部署名	市民部市民課 窓口班 ほか		
	款項目及び予算名	2款3項1目 戸籍住民基本台帳費	新市基本計画	
	予算事業名	市民相談事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 1 市民サービスの充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、情報環境の整備などを進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	市民の日常生活における悩みや問題に対し、適切に相談に応じられるよう各種相談を実施していく。		
	対象			
	根拠法令・関連計画 等			
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・合同相談(法律相談・市民生活相談・人権相談・交通事故相談・行政相談)の実施...毎月第二金曜日 ・市民生活相談・法律相談の実施...毎月第四火曜日	・利用者 【合同相談】172人 法律相談・105人、市民生活相談・57人、行政相談・4人、人権相談・6人、 【市民生活・法律相談】184人 法律相談・141人、市民生活相談・43人

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,783,000
	予算現額						1,783,000	1,783,000
	決算額						1,777,223	1,777,223

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	合同相談毎月実施		目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
	市民生活・法律相談毎月実施		目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
成果指標	合同相談相談者数(年間)		目標値	210	210	210	210
			実績値	172	151	178	172
	市民生活・法律相談者数(年間)		目標値	180	180	180	180
			実績値	202	204	195	184
		目標値					
		実績値					

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	年間の相談枠にはまだ余裕があるため、相談業務の周知を図り、さらに利用しやすくするよう努めて行く。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	193
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	電子行政推進事業		
	担当部署名	総務部情報管理課 情報管理班		
	款項目及び予算名	2款1項10目 電子計算費	新市基本計画	
	予算事業名	電子行政推進に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - -1 市民サービスの充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、情報環境の整備などを進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成14年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	各種申請や届出手続きの電子化など、電子行政を推進し、市民の利便性向上を図る。また、印西市情報化計画の進行管理をはじめ、市民及び職員の情報リテラシー向上やセキュリティ対策に関する研修や講座を開催し、安全に情報通信機器を利用できる環境を支援していく。		
	対象	職員、市民等		
	根拠法令・関連計画等	第3次印西市情報化計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・職員向け研修(セキュリティ、OFFICE、GIS等)の実施 ・市民向け講習会の開催 ・情報化計画の進行管理 ・個人番号制度対応システムの構築	・各職員向け研修を13回行った。 ・市民向け講習会については、東京電機大学の学生を講師に市民講座を1回実施。家庭教育学級に出前講座を2回実施 ・情報化計画の進行管理 ・個人番号制度については、行政管理課で対応。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						4,056,000	4,056,000
		予算現額						4,056,000	4,056,000
		決算額						3,791,950	3,791,950

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	電子申請サービス取扱手続数	件	目標値	20	22	22	24
			実績値	18	18	17	20
	職員向けパソコン研修 (GIS、OFFICE、セキュリティ等)	回	目標値	18	18	18	18
			実績値	24	26	16	13
	市民向けセキュリティ講習	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	3	2	3
成果指標	電子申請サービス取扱件数	件	目標値	400	450	450	500
			実績値	448	722	954	1,755
	職員向けパソコン研修受講者数	人	目標値	60	60	200	200
			実績値	163	225	209	155
	市民向けセキュリティ講習	人	目標値	80	80	80	80
			実績値	39	47	163	48

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	取扱手続数については、目標値を下回っているが、取扱件数は増加しており活用度は高くなっている。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	電子申請については、職員へのシステム自体の周知や電子申請化できる手続の聞き取り等を各課に行い、増加をはかる。各種研修、セキュリティ講習については、現行と同様に行う。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	194
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	社会保障・税番号制度の導入		
	担当部署名	総務部行政管理課 番号制度準備室		
	款項目及び予算名	2款1項1目 一般管理費	新市基本計画	
	予算事業名	社会保障・税番号制度の導入に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 1 市民サービスの充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、情報環境の整備などを進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めています。		
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	社会保障・税番号制度の導入による市民の利便性の向上及び行政運営の効率化等を図るため、既存システムの改修など必要な準備を行う。		
	対 象	市民		
	根拠法令・関連計画 等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 他		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連システム改修</li> <li>・中間サーバー負担金</li> <li>・例規整備支援業務委託</li> <li>・制度の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障・税番号制度の導入に伴い必要となる業務システムの改修を行った。</li> <li>・情報連携に必要となる地方公共団体情報システム機構が構築する自治体中間サーバープラットフォームASPサービスの利用に係る負担金を支出した。</li> <li>・社会保障・税番号制度の導入に伴い必要となる例規の改正等について業務の一部を委託した。</li> <li>・社会保障・税番号制度の導入に関して市広報紙や市ホームページ等により市民への周知を図った。</li> <li>・地方公共団体情報システム機構へ委任している通知カード及び個人番号関連事務に対する交付金を支出した。</li> </ul>	

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		13,593,000			0	4,409,000
予算現額			61,878,000			6,000	4,411,000	66,295,000
決算額			40,136,000			0	4,373,560	44,509,560

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	(対象:市民) 広報紙、ホームページによる制度周知	回数	目標値				3
			実績値			1	9
	(対象:職員・議員等) 制度等説明会の実施	回数	目標値				2
			実績値			5	2
成果指標	制度の周知状況		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	広報紙への掲載は延べ9回行った。ホームページについても必要な記事の掲載及び更新を行った。
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	広報紙での制度周知の掲載について目標値を大きく上回ることができた。

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	平成28年1月のマイナンバー利用開始をもってマイナンバー制度の導入面での事務事業は終了となるが、平成29年7月から予定されている情報連携の開始に向けて引き続き必要なシステム改修等を行っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	195
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	公共施設情報ネットワーク整備事業		
	担当部署名	総務部情報管理課 情報管理班		
	款項目及び予算名	2款1項11目 電子計算費	新市基本計画	
	予算事業名	情報基盤整備に要する経費、デジタル航空写真整備事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	6 - -1 市民サービスの充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民満足度の高い自治体をめざして、市民目線での行政サービスの見直しや窓口等の充実、情報環境の整備などを進め、利便性の高い市民サービスの提供に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成14年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	情報通信技術の進展や情報セキュリティなどに配慮した、庁内及び公共施設間の情報通信基盤を整備し、安全で効率的な行政運営を図る。		
	対象	職員		
	根拠法令・関連計画等	第3次印西市情報化計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・住民情報システム用プリンタ入替26台 ・内部情報系プリンタ及び複合機の効率的な配置 ・セキュリティ対策 ・情報機器等管理	住民情報システム用プリンタ入替26台 複合機へのコピー、プリンタ、スキャナ、FAX機能統合 セキュリティ対策 情報機器等管理

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度		積算額 (当初予算額)	0			800,000	105,859,000	106,659,000
		予算現額	12,508,000			800,000	155,523,366	168,831,366
		決算額	0			800,000	91,314,975	92,114,975

3. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			目標値	実績値	目標値	実績値
活動指標	庁内情報用パソコン新オペレーションシステムへの対応(パソコン入替)	目標値	225	270	0	152
		実績値	245	575	0	0
	庁内情報用プリンタ入替	目標値	75	0	0	26
		実績値	70	0	0	26
成果指標	新オペレーションシステム普及率	目標値	40	77	100	100
		実績値	40	100	100	100
	プリンタ入替による消費電力の削減	目標値	44	0	0	61
		実績値	44	0	0	3
		目標値				
		実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	<b>B ほぼ目標値どおりである</b>	平成27年度152台入替としていたパソコンはOSがXPのため、平成25年度に前倒しして、入替えている。
成果に対する評価	<b>C 目標値をやや下回る</b>	購入対象のプリンタが住民情報系用のため、使用できる機器が固定されており、消費電力の少ないものの選択ができなかった。
総合的な評価	<b>B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった</b>	住民情報系プリンタの省電力化は図れなかったが、庁内情報系プリンタは、機器入替のタイミングでコピー・プリンタ・スキャナ・FAXの機能を1台の複合機に集約化を進めており、台数を削減している。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	パソコンは5年をめに、計画的な入替を行う。また機器入替のタイミングで、複合機を導入し、コピー、スキャナ、プリンタ、FAX機能を集約することで、機器の台数の削減を図る。

# 平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	196
------	-----

## 1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	事務事業の再編・整理		
	担当部署名	総務部行政管理課 行政管理班		
	款項目及び予算名	2款1項1目 行政改革に要する経費	新市基本計画	
	予算事業名	行政改革に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成24年度～平成27年度		
	事業の実施目的及び概要	簡素で効率的な行政運営を実現するため、事務事業の再編・整理、統合・廃止を進めていく。		
	対象	全課		
	根拠法令・関連計画等	第4次印西市行政改革大綱及び第4次行政改革実施計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	第4次行政改革実施計画に基づく進捗管理 (事務事業の再点検の実施及び合理化)	新年度予算編成ヒアリングに同席し、事務所管課に対し、「事務事業の見直しに係る基本的な考え方」に基づいた事務の合理化について検討いただくとともに、補助金の見直し及び使用料・手数料の見直しについても検討いただくよう要請した。それにより、一部では見直しが進んだものもあるが、全体として整理統合が進んでいるわけではない状況にあります。	

## 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)				
		予算現額					430,000	430,000
		決算額					240,186	240,186

## 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	事務事業数 具体的な数値目標は設定せず	事業	目標値				
			実績値				
		目標値					
		実績値					
成果指標	経費削減比率(前年度比) 具体的な数値目標は設定せず	%	目標値				
			実績値				
		目標値					
		実績値					

## 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	事務事業の見直しにより、補助金の廃止、事務の委託及び指定管理者制度の新規導入の検討など、一部の課で実施されるとともに、次年度に向けた検討なども行われた。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	全体としての事務事業の整理・統合は数字等で見える形では実施されていないが、それぞれの課等において事務事業の見直しを行っている状況である。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	一部では、実施されているが全体として整理・統合が進んでいない状況となった。

## 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	事務事業の整理・統合は、市全体の人員・事務事業に及ぶことから、大きな括りの中では評価しにくいものとなっている。そのため、次期実施計画では、その中の取り組みである、各課等の事務事業や公共施設の管理運営方法について、民間委託等の導入及び指定管理者制度の導入を推進することを計画事業として掲げていきたいと考える。

# 平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	197
------	-----

## 1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	公共施設の整理統合と有効利用		
	担当部署名	総務部行政管理課 行政管理班		
	款項目及び予算名	2款1項1目 行政改革に要する経費	新市基本計画	
	予算事業名	行政改革に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成8年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	既存の公共施設について、市全体のバランスを考慮した施設配置、施設利用者数などを勘案した施設運営の検証を行うとともに、市民の利便性を考慮した施策を推進し、効率的な施設設置及び有効利用を進める。		
	対象	全課		
	根拠法令・関連計画等	第4次印西市行政改革大綱及び第4次印西市行政改革実施計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の適正配置を含めた運営方針の策定</li> <li>方針に基づく協議</li> <li>運営状況の検証</li> <li>施設の統合の検討</li> </ul>	平成26年度に実施した市有建築物の現況調査を基に公共施設等総合管理計画の策定を実施、平成27年度、平成28年度の2か年で策定することとして、平成27年度は、基礎資料の作成及び市民アンケート調査の実施、計画の骨子案を作成した。

## 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					5,735,000	5,735,000
		予算現額					5,735,000	5,735,000
		決算額					5,724,000	5,724,000

## 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	指定管理者制度の導入(再指定除く) 具体的な数値目標は設定せず	施設	目標値				
			実績値	1	1	0	1
	施設の統合・廃止(検討) 具体的な数値目標は設定せず	施設	目標値				
			実績値	0	1	2	1
	施設の有効活用(検討) 具体的な数値目標は設定せず	施設	目標値				
			実績値	0	0	0	0
成果指標	指定管理者制度の導入施設数(再指定除く) 具体的な数値目標は設定せず	施設	目標値				
			実績値	1	1	0	1
	統合・廃止した施設数 具体的な数値目標は設定せず	施設	目標値				
			実績値	0	0	0	0
	有効活用を図った施設数 具体的な数値目標は設定せず	施設	目標値				
			実績値	0	0	0	0

## 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	<b>B ほぼ目標値どおりである</b>	
成果に対する評価	<b>F 計画なし(目標設定なし)</b>	
総合的な評価	<b>B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった</b>	公共施設等総合管理のための基礎データの収集及び市民アンケートの実施、骨子案の作成を予定どおり行うことができた。

## 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	公共施設等総合管理計画を策定するとともに、今後の公共施設等適正配置の基礎となる方針を策定し、市民に説明を行い、公共施設の整理統合を進める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	198
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	行政評価推進事業		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	総合計画策定に要する経費	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行財政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成15年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	総合計画及び基本計画の進行管理として、施策・事業の効果や有効性等について評価検証を行い、その結果を的確に反映させることにより、市民満足度の向上を図っていく。		
	対象	第1次基本計画に基づく全施策及び実施計画事業		
	根拠法令・関連計画等	第4次印西市行政改革大綱		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度		・実施計画事業の進捗管理(評価) ・評価結果の公表 ・市民満足度・重要度調査の実施	・総合計画の進捗管理及び市民満足度の向上を目的として、実施計画事業(196事業)の行政評価を実施した。 ・評価結果について、市広報及びホームページで公表し、総合計画審議会、地域審議会に報告した。 ・市民満足度・重要度調査を実施し、結果を広報、ホームページで公表し、総合計画審議会、地域審議会に報告した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					2,916,000	2,916,000
		予算現額					2,916,000	2,916,000
		決算額					1,846,800	1,846,800

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	評価実施事業数	事業	目標値	228	190	190	190
			実績値	194	190	188	196
	評価施策数	施策	目標値			55	
			実績値			55	
市民アンケートの周知 (広報、ホームページ、はがき等)	回(総数)	目標値			3		3
		実績値			2		3
成果指標	行政評価で方向性を示した事業数 (現状維持以外)	事業	目標値	5	5	5	5
			実績値	20	18	34	18
	行政評価で方向性を示した施策数 (現状維持以外)	施策	目標値			2	
			実績値			8	
取り組みに対する満足度の割合			目標値				
			実績値		2.69		2.71

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市民アンケートの未回答者に対し、ハガキによる回答依頼を実施した。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	満足度は、「満足」...4点、「やや満足」...3点、「やや不満」...2点、「不満」...1点とし、各項目の合計点を算出し、設問ごとのサンプル数で割ったもの(無回答は対象外)全32問の平均値
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	市民満足度・重要度調査は、前回調査よりも、有効回答率が増加した。(54.5%) 平成28年度にはこの調査結果を踏まえ、第1次基本計画の施策評価を実施する。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、施策・事業の効果や有効性等について評価検証を行い、その結果を的確に反映させることにより、市民満足度の向上を図っていく。また、次期基本構想に向けて先進的な市民意見の取り込み方についても検討していく。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	199
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	定員管理の適正化	
	担当部署名	総務部総務課 人事職員班	
	款項目及び予算名	新市基本計画	
	予算事業名	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行政運営	スマイルプラン
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。	
事業内容等	事業年度	平成24年度～平成27年度	
	事業の実施目的及び概要	前定員管理計画(平成22年度～平成26年度)では合併に伴う効果を発揮するため職員数の削減を進めてきたが、今後の人口の増加や地方分権に伴う事務事業の増加などに対応するため、新たな定員管理計画(平成27年度～平成32年度)では、職員数の計画的な増加を図るとともに必要な人材の確保、年齢構成の平準化に取り組む。	
	対 象	全課	
	根拠法令・関連計画 等	・簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律 ・第4次印西市行政改革大綱及び第4次印西市行政改革実施計画 ・印西市定員管理計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	定員管理計画に基づき進捗管理	定員管理計画では平成27年度の採用、退職により平成28年4月1日現在の職員数を663人とする予定となっていたが、内定辞退者及び早期退職者が見込みよりも多かったため平成28年4月1日現在の職員数が予定よりも大幅に下回る結果となった。

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						
予算現額								0
決算額								0

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	職員採用の抑制(退職者数の2分の1程度の採用) 数値は次年度4月1日採用の職員数	人	目標値	11	11	11	11
			実績値	13	22	28	28
	職員採用の推進(数値は次年度4月1日の職員数)	目標値					663
		実績値					657
成果指標	職員の削減数(平成22年度から平成26年度までの5年間で43人削減する計画) 数値は平成22年度からの総削減数	人	目標値	4	18	43	43
			実績値	6	18	43	43
	職員の増減数(数値は前年度職員数からの増減数)	目標値					4
		実績値					2
		目標値					
		実績値					

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	内定辞退や早期退職に対応できるよう補欠採用の人数を増やすなどの対策が必要である。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	内定辞退や早期退職に対応できるよう補欠採用の人数を増やすなどの対策が必要である。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	内定辞退や早期退職に対応できるよう補欠採用の人数を増やすなどの対策が必要である。

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	定員管理計画に基づき、職員数の計画的な増加を図るとともに必要な人材の確保、年齢構成の平準化に取り組む。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	200	
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	職員能力の向上		
	担当部署名	総務部総務課 人事職員班		
	款項目及び予算名	2款1項1目 一般管理費	新市基本計画	
	予算事業名	職員研修費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成12年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	専門的、実務的な知識の習得、政策形成、対人折衝、職務遂行等の能力向上を図るため、系統立てた人材育成を推進することにより、社会情勢の変化や様々な行政課題に対応できる職員を育成し、組織としての総合力を高めていく。		
	対象	職員		
	根拠法令・関連計画等	印西市職員人材育成基本方針		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	派遣研修・専門研修・特別研修・職場研修等の実施	指名制により職階や経験年数等に応じた研修への参加を促すとともに、専門的な知識を習得するための研修への参加募集を積極的に行った。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)				303,000	3,032,000	3,335,000
		予算現額				303,000	3,032,000	3,335,000
		決算額				303,000	3,032,000	3,335,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	研修(紹介科目数)	科目	目標値	300	300	300	300
			実績値	335	295	144	207
			目標値				
			実績値				
成果指標	派遣研修	人	目標値	50	50	50	50
			実績値	97	150	176	187
	専門研修	人	目標値	50	50	50	50
			実績値	135	84	58	85
	特別研修	人	目標値	150	150	150	150
			実績値	53	54	94	107
	職場研修	人	目標値	650	650	650	650
			実績値	325	416	465	527
	自主研修	人	目標値	10	10	10	10
			実績値	0	0	0	0

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	自治研修センター等が実施する研修のメニューを提示し、研修への参加募集を積極的に行ったが、数値については研修所等の募集メニューの数に影響されるため、目標を下回る結果となった。しかしながら参加募集の活動としては目標のとおり行われている。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	研修の種別によって実績値が目標値を上回るものと下回るものがあるが総体的にみるとほぼ目標のとおり行われている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	職員の能力を向上させていくことは必要であることから、今後も引き続き指名制により職階や経験年数等に応じた研修への参加を促すとともに、専門的な知識を習得するための研修への参加募集などを積極的に行っていく。

# 平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	201
------	-----

## 1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	計画的な財政運営		
	担当部署名	企画財政部財政課 財政班		
	款項目及び予算名		新市基本計画	
	予算事業名		主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な財政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施継続		
	事業の実施目的及び概要	実施計画の進捗状況との連携を図りながら中長期的な財政見通しをたて、基本計画で定める施策に基づく事業選択の際の指針とするとともに、経常経費の削減や自主財源の確保等歳入歳出両面からの健全化を図り、財政構造の弾力性の確保に努め、健全で安定した財政運営を目指す。		
	対象			
	根拠法令・関連計画等	印西市財政計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・健全な財政運営及び計画的な財源配分 ・予算ヒアリング等を通じた財政構造の弾力性の確保 ・財政計画の策定	健全な財政運営に努めるとともに、計画的な財源配分を行った。 財政計画(H24～27) 予算ヒアリング等を通じ、経常経費の削減や自主財源の確保等の歳入歳出両面からの健全化を図るとともに、財政構造の弾力性の確保に努めた。 計画期間を平成28年度から平成32年度までとする財政計画を策定した。

## 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)				
		予算現額						0
		決算額						0

## 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	予算ヒアリングを通じ、財政構造の弾力性確保に努める。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
成果指標	実質公債費比率		目標値	10.0	10.0	10.0	10.0
			実績値	9.9	9.2	8.0	
	経常収支比率		目標値	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	89.9	88.1	86.1	
			目標値				
			実績値				

## 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	成果指標は今後算出することとなるが、市税等の一般財源の増や起債の抑制により目標値は達成する見込みである。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

## 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	合併に伴う普通交付税の特例措置が平成27年度から段階的に縮減されたことから、予算編成時等において人件費や物件費をはじめとした、経常経費のより一層の削減に努める。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	202
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	広域的連携体制の強化		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	印旛郡市広域市町村圏事務組合負担金	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行財政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	昭和47年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	行政区域を越える広域的な課題や事務について、国・県・関係自治体と連携し対応することにより、行政運営の効率化を図る。 採用試験及び職員共同研修 水道用水供給事業 軽費老人ホームよききりの運営支援 二次救急医療機関 関係市町の共通課題についての連絡調整		
	対象	広域市町村(成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町)		
	根拠法令・関連計画等	印旛郡市広域市町村圏事務規約		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	広域的な課題等への対応 ・ 職員採用試験及び職員の共同研修 ・ 地方公営企業法に基づく水道用水供給事業 ・ 軽費老人ホームの運営支援 ・ 病院群輪番制方式による第二次救急医療機関運営事業	規約に基づき、広域的に取り組む事業に対し負担金を拠出した。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		予算現額					43,366,000	43,366,000
		決算額					43,366,000	43,366,000

3. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			活動指標	千円	目標値	70,587	55,000
		実績値	66,818	44,307	41,864	43,366	
成果指標	共同処理する事業数	事業	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	広域的な行政課題や効率的な行政運営を目的として、今後も広域的な連携体制の推進を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	203
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	近隣自治体とのまちづくり連携		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	企画事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成20年から実施		
	事業の実施目的及び概要	まちづくりについて、広域的視点で調査・研究を行い、自治体相互の行政の発展に寄与する。		
	対象	近隣自治体		
	根拠法令・関連計画等	各協議会規約		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	広域的なまちづくりの課題の抽出及び事業化に向けた検討・実施	我孫子市印西市まちづくり連絡協議会(幹事会1回、協議会1回) 手賀沼手賀川活用推進協議会(幹事会1回、協議会1回) 印旛沼流域水循環健全化会議 水と地域のネットワークワーキンググループ(ワーキンググループ2回)、印旛沼関連事業市町連絡会議で近隣自治体と連携し、まちづくりの課題解決に取り組んだ。	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					103,000	103,000
		予算現額					103,000	103,000
		決算額					102,200	102,200

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	総会の開催(各々)	回	目標値	3	3	3	3	
			実績値	4	5	3	3	
	幹事会の開催(各々)	回	目標値	3	3	3	3	
			実績値	4	4	4	3	
	事務局会議の開催(各々)	回	目標値	3	3	3	3	
			実績値	1	1	6	3	
成果指標	研究テーマ数(各々)	課題	目標値	3	3	3	3	
			実績値	3	3	3	3	
	連携取組数	事業	目標値	1	1	1	1	
			実績値	0	0	4	3	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後もまちづくりについて、広域的な視点により調査・研究を行い、自治体相互の行政の発展を図っていく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	204
------	-----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	第2次基本計画等の策定		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	総合計画策定に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行財政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成26年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	施策評価や事業評価の結果に基づき、施策・事業の効果や有効性等について検証を行い、第2次基本計画及び実施計画を策定する。		
	対 象	第1次基本計画に基づく全施策及び実施計画事業		
	根拠法令・関連計画 等	印西市総合計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価の検証</li> <li>総合計画審議会及び地域審議会の開催</li> <li>第2次基本計画の策定</li> <li>第5次実施計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価の実施(事業評価206事業)</li> <li>総合計画審議会及び地域審議会の開催(各3回)</li> <li>第5次実施計画の策定(事業)</li> </ul>

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額					7,517,000	7,517,000
		決算額					7,411,223	7,411,223

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	行政評価(施策評価)の実施	施策数	目標値			55	
			実績値			55	
	庁内策定本部体制における策定作業(本部会議の開催回数)	回数	目標値			2	2
			実績値			1	4
	策定のための総合計画審議会・地域審議会の開催	開催回数	目標値			9	6
			実績値			9	9
成果指標	第2次基本計画の策定	進捗率	目標値				100
			実績値				100
				目標値			
				実績値			

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
5 終了	スケジュールの変更はあったものの、平成27年度において、素案について総合計画審議会等での審議や、市民説明会(6箇所)、パブリックコメントの実施により広く市民の意見を反映させながら計画を策定した。今後は、実施計画事業で進行管理をすすめていく。

# 平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	205
------	-----

## 1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定		
	担当部署名	企画財政部企画政策課 企画政策班		
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画	
	予算事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	6 - - 2 効率的・効果的な行政運営	スマイルプラン	
	施策の方向性	行政改革大綱により、事務事業の見直し、職員の定員管理の適正化、公共施設の整理統合などの行政改革を推進し、自立した基礎自治体として総合的かつ専門的な行政機能の強化を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成27年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口の現状と将来の展望を提示する地方人口ビジョンを策定し、これを踏まえて、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する。		
	対象	第2次基本計画に基づく全施策及び実施計画事業		
	根拠法令・関連計画等	印西市総合計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定	印西市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、印西市まち・ひと・しごと創生推進審議会を4回開催するとともに、市民意見公募(パブリックコメント)を実施し、平成28年3月に策定を完了した。

## 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)	0			
		予算現額	8,400,000					8,400,000
		決算額	6,711,000					6,711,000

## 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の進捗率	%	目標値				100
			実績値				100
			目標値				
			実績値				
成果指標			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

## 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

## 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
5 終了	今後は実施計画事業の中で総合戦略の進行管理を行っていく。